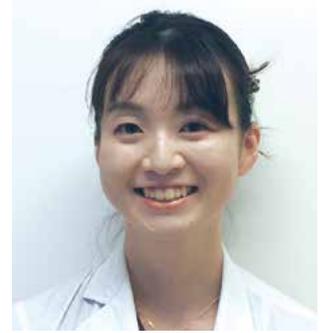


おしりから 大腸カメラを入れなくても 大腸癌は見つけられる！



消化器内科医長
田中 順子

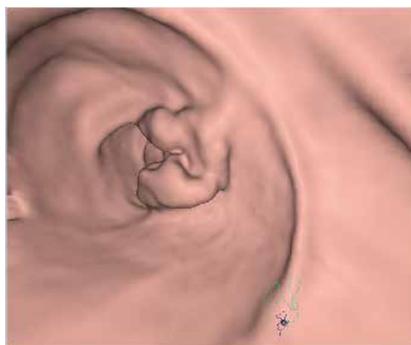
先日、診察室で大腸ポリープを内視鏡で切除した方に、「良性の腫瘍で、がんではなかったですよ。安心してください」と最終結果をお伝えしたところ、「えー！今回はがんじゃなかったの!?残念です。」と予想外の言葉が返ってきました。がんではなかったと伝えたのにも関わらず、残念がられたのに大変驚き、詳しく伺うと、今回の治療の1年前に早期大腸がんを大腸内視鏡で切除していたため、契約していたガン保険の保険料の支払いは今後必要なくなり、新たにがんが診断されるたびに保険料が手に入るというお話でした。早期の大腸がんは内視鏡で簡単に切除して治るから、今回はがんではなかったことを残念がったのだとその心の内を明かしてくれました。最近、同じようなことを時々耳にするようになり、大腸がんは早期に発見すれば『治るがん』であるという認識が患者さんの中に浸透し始めたことを喜ばしく思う診察の一場面でもありました。

近年、大腸がんはかかる人も亡くなる人も共に増えていますが、早期

に発見すれば完治が期待できるがんです。しかし、治る可能性のある段階では自覚症状がないため、大腸の検査を受けなければ発見はできません。

大腸CT検査は大腸を炭酸ガスで膨らませた状態でCTを撮影し、得られた画像をコンピューター処理することで、まるで大腸内視鏡と同じような3D画像を得ることができます。治療が必要な癌や大腸腺腫(いわゆる大腸ポリープ)などの発見には内視鏡検査と同等の精度と報告されています。

前日の食事に少量のバリウムを服用していただくことで、下剤の量を内視鏡と比較すると少量ですみま

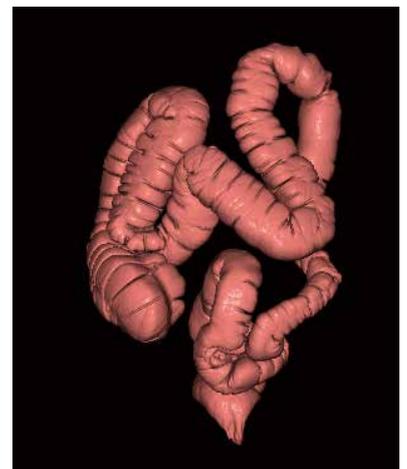


仮想内視鏡像 進行癌の一例

す。また大腸を炭酸ガスで膨らませるため、検査後すぐに体に吸収され、検査後の腹部膨満感などはほとんど感じません。

大腸CT検査は保険診療でも認められている検査です。適応については一度、かかりつけの医師や当院消化器内科へご相談ください。

また自覚症状がなくても大腸がんを早期に発見するには、定期的な検査が大切です。当院健診センターにおいても大腸CT検査を受けていただくことができます。どうぞ、日々の健康管理にお役立てください。



大腸CT検査で見た大腸全体像

健診センターでは、当コーナーでご紹介した大腸CT検査の他、人間ドック(一泊・日帰り)や脳、肺に特化したコースなど、豊富なメニューをご用意しております。

詳しくは **077-526-8370**(健診センター直通)までお問い合わせください。

また、当院では保険診療での大腸CT検査も実施しておりますので、かかりつけの医師や当院消化器内科(外来Bブロック)にご相談ください。